

ジュース加齢抗 開発状況を報告



健康ビジネス協議会の取り組みを報告した講演会＝新潟市中央区

健康ビジネス協議が講演会

県内企業などで行う健康ビジネス協議会は2月25日、これまでの取り組み状況を報告する講演会を新潟市中央区で開いた。同協議会の役員やアドバイザーらが約40人の会員らを前に、アンチエイジングや健康づくりをキーワードにした新製品開発や市場開拓などの取り組みを説明した。

講演会では、同協議会の阿部徳義常任理事が、会員企業で食品製造のホリカフーズ（魚沼市）が中心となり開発を進めるアンチエイジングジュースについて説明。「高い食品加工技術を生かし、抗加齢のエビデンス（科学的根拠）も実証できるものになる」とした。ジュースはホリカフーズのほか、新潟巧測（村上市）

やアンチエイジングサイエンス（AAS、東京）が開発に参加。新潟巧測が調達した胎内市産のニンジンや国産リンゴを使う。同協議会アドバイザーの白沢卓二・順天堂大学教授が取締役を務めるAASは、ジュースの抗加齢の科学的根拠をまとめていく。

既に試作品開発に入っており、2015年度の発売を目指す。阿部理事は「機能性食品の開発事業は来年度の事業の柱に据える。他の企業も積極的に参加してほしい」と呼び掛けた。

また、協議会アドバイザーで、プロスキーマーの三浦豪太さんが県内でウインタースポーツのトップ選手育成を目指す取り組みについて講演した。